厚生労働省薬剤師養成事業 「第 25 回 薬剤師のためのワークショップ 中国･四国 in 香川」

医療人としての高い倫理観と優れた問題解決能力を兼ね備えた資質の高い薬剤師を養成するために、2010 年から 6 年制薬学教育において、病院･薬局での長期実務実習が始まります。

その実務実習において学生を指導する質の高い実務実習指導薬剤師を養成するため、2009 年 11 月 22、23 日に、香川キャンパス リサーチ･アンド･メディアライブラリーにおいて、日本薬剤師研修センター、病院･薬局実務実習中国･四国地区調整機構、香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、徳島文理大学香川薬学部が共同主催者となり、中国･四国地区の病院薬剤師 22 名、薬局薬剤師 59 名および薬学部の大学教員 9 名を対象に、薬剤師のためのワークショップを開催いたしました。

このワークショップでは、カリキュラム･プランニングをテーマとし、教育を「学習者の行動（知識･技能･態度）に価値ある変化をもたらすこと」と捉え、学習者の到達すべき目標を設定し、教える側全員がこの目標を理解した上で、教育の方法、教育の評価法を具体的に作りあげ、学習者が目標に到達したか、この教育の方法そのものが妥当であるかなどを評価し、よりよいカリキュラムを作りあげていく手法を体得すること目的として、9 つのグループに分かれたグループディスカッション、3 つのチームでの全体会議、さらに合同全体会議で活発な討論が行なわれました。

「第 25 回 薬剤師のためのワークショップ 中国･四国 in 香川」

実行委員会 世話人代表 加藤 善久